



警戒情報

長崎市消費者センター

長崎市消費者を守るネット通信(第119号)

配信日 平成28年10月26日

消費者庁からの情報です。

0歳児の就寝時の窒息死に注意！

0歳児における不慮の事故死の中では、窒息によるものが占める割合が高く、特に就寝時の窒息死事故が多数起きています。

厚生労働省の「人口動態調査」から分析したところ、平成22年から平成26年までの5年間で、160件（不慮の事故死全体の32%）が確認されています。

<消費者センターからのアドバイス>

0歳児の首すわり、寝返り、お座りといった発達状態に応じた特徴に配慮した寝具の利用や就寝の仕方に注意が必要です。

- できるだけベビーベッドに寝かせ、転落しないように柵は常に上げておきましょう。
- 子ども用の軽い掛け布団、敷布団、枕を使用しましょう。
- 寝ている子どもの顔の近くに口や鼻を覆ったり、首に巻きついてしまうようなものは置かないようにしましょう。
- 寝室には、子どもの頭や顔が挟まってしまう隙間をなくしましょう。
- 1歳になるまでは、あお向けに寝かせましょう。
- 添い寝をしたまま寝込んでしまい、保護者の身体の一部で子どもを圧迫してしまわないように注意しましょう。

詳しくは、消費者庁のホームページをご覧ください。

※おかしいなと思ったときは、すぐに消費者センターにご相談ください。

長崎市消費者センター（長崎市築町3番18号 メルカつきまち4階）

相談専用電話 **095-829-1234**

【相談受付時間】火曜日～日曜日、祝日 午前10時～午後5時

※月曜日は休業日です（月曜日が祝日のときは開館し翌平日が休業です）